

第218回

# 柏崎しんきん地区内経済指標

(平成26年5月)

 柏崎しんきん

(平成8年4月 創刊)

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前 月 比	世 帯 数	前年同月比	前 月 比
中 心 部	9,505	-1.15	-0.07	4,127	0.29	0.04
東 部 地 区	14,182	-0.72	-0.20	5,731	0.38	-0.06
西 部 地 区	10,387	-0.27	0.00	4,019	0.65	-0.02
駅 南 地 区	6,359	0.28	0.00	2,808	1.66	0.21
半 田 地 区	3,702	0.32	0.05	1,402	-0.21	-0.28
横 山 地 区	5,569	-0.57	-0.07	1,958	1.24	0.35
茨 目 ・ 田 尻 地 区	7,023	0.14	0.18	2,489	1.63	0.24
荒 浜 地 区	5,001	-0.69	-0.01	2,016	0.24	0.14
そ の 他 地 区	19,312	-1.85	-0.13	7,124	-0.41	-0.01
西 山 町 地 区	5,942	-2.43	0.06	2,129	-0.74	-0.09
高 柳 町 地 区	1,663	-3.76	0.06	788	-1.50	0.38
柏 崎 市 計	88,645	-0.94	-0.05	34,591	0.33	0.04
刈 羽 村	4,803	-0.41	-0.06	1,576	0.19	0.06
小 国 地 区 (長 岡 市)	5,836	-2.76	-0.17	2,110	-1.12	-0.09
出 雲 崎 町	4,811	-2.19	-0.10	1,768	-1.06	-0.16
合 計	104,095	-1.08	-0.06	40,045	0.18	0.02

(資料出所：柏崎市、各市町村)

地域全体の人口動向は前年同月比では、すべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で849人、0.94%、刈羽村で20人、0.41%、小国地区(長岡市)で、166人、2.76%および出雲崎町で108人、2.19%と減少したことから、全体では1,143人、1.08%の減少となる。また、前月比では、柏崎市で47人、0.05%、刈羽村で3人、0.06%、小国地区で10人、0.17%および出雲崎町で5人、0.10%と減少したことから、全体では65人、0.06%の減少となる。

年齢別人口では、団塊の世代が生産年齢人口(15～64歳)から老年人口(65歳以上)へ移行中であることから、老年人口割合は年々上昇を続けている。

世帯数の前年同月比では、柏崎市で114世帯、0.33%および刈羽村で3世帯、0.19%と増加しているが、小国地区で24世帯、1.12%および出雲崎町で19世帯、1.06%が減少したことから、全体では74世帯、0.18%の増加となった。また、前月比では、柏崎市で15世帯、0.04%および刈羽村で1世帯、0.06%と増加しているが、小国地区で2世帯、0.09%および出雲崎町で3世帯、0.16%の減少により、全体では11世帯、0.02%の増加となっている。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前 月 比	
			柏 崎	県	柏 崎	県
月 間 有 効 求 人	1,704		26.31		-1.21	
月 間 有 効 求 職 者	1,863		-12.74		-1.58	
月 間 有 効 求 人 倍 率	0.91	1.20	0.28*	0.31*	0.00*	0.03*

\*印は差し引き計算

(資料出所：柏崎公共職業安定所)

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況(パートを含む全数)では、月間有効求人数が1,704人と前年同月比で355人、26.31%の増加しているものの、前月比では21人、1.21%減少している。

月間有効求職者数は、1,863人と前年同月比で272人、12.74%減少となっており、前月比でも30人、1.58%減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.91倍と前年同月比で0.28ポイント上回ったが、前月比では同倍率となっている。なお、県平均1.20倍と比べると0.29ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況(パートを含む全数)については、月間新規求人数が659人と前年同月比で104人、18.73%増加し、月間新規求職者数が465人と前年同月比で84人、15.30%減少した結果、月間新規求人倍率は1.42倍となり、前年同月の1.01倍に比べて0.41ポイント上回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成25年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	28	-13	4	52	-36
共 同 住 宅	0	-1	0	0	-5
事 務 所	1	1	1	1	-1
作 業 所・工 場	0	0	-1	1	0
営 業 建 物	2	0	1	3	0
公 共 建 物	0	0	0	0	0
そ の 他	18	-3	5	31	4
合 計	49	-16	10	88	-38

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が49件と前年同月比では16件の減少となる。工種別内訳の増減をみると、前年同月比で一般住宅(併用)で13件、共同住宅で1件、その他で3件減少し、事務所で1件増加している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が46件となっており、また一般住宅(併用)28件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況では、市内施工業者が9件(うち新築7件)、市外施工業者が19件(うち新築18件)となっている。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,816	0.70	0.05	18,106	-10.33	-10.13
電 力	9,820	-2.59	0.37	35,031	-0.84	-3.93

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比では460口、0.70%の増加。前月比でも39口、0.05%の増加となっている。一方、電力においては、前年同月比では262口、2.59%と減少しているが、前月比では37口、0.37%の増加となっている。

使用量においては、電灯が前年同月比では2,087kwh、10.33%の減少。前月比においても、2,042kwh、10.13%と減少している。同様に、電力では、前年同月比で297kwh、0.84%の減少。前月比においても、1,436kwh、3.93%の減少となった。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,159,500	-11.63	-21.07	703,885	1.02	1.36
営 業 用	163,912	-11.76	-29.59	118,028	-0.01	1.51
工 業 用	630,719	-0.56	-9.33	98,842	-5.27	-7.80
官 公 学 校 用	209,904	-16.65	-39.87	72,428	-2.09	5.98
そ の 他				252	-37.46	342.10
合 計	2,164,035	-9.23	-21.21	993,435	-0.01	0.72

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で220,104m<sup>3</sup>、9.23%と減少、前月比でも582,710m<sup>3</sup>、21.21%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比および前月比ともに全ての項目で減少している。

一方、水道給水量は、前年同月比で121m<sup>3</sup>、0.01%と減少しているが、前月比は7,199m<sup>3</sup>、0.72%の増加となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では、家庭用のみで増加している。前月比では、工業用を除く用途で増加している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	88,352	-2.65	7.82	90,917	-3.91	7.70
西 山	40,776	-4.27	11.94	37,664	-5.64	13.43
米 山	21,645	-12.24	8.04	20,612	-7.33	14.43
合 計	150,773	-4.59	8.94	149,193	-4.83	10.00

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域における高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で7,254台、4.59%と減少しているが、前月比においては12,374台、8.94%と増加している。

出口においても、同様に、全体では前年同月比で7,585台、4.83%と減少しているが、前月比においては13,569台、10.00%と増加している。

インター別の前年同月比で見ると、全ての入口・出口で減少しているが、前月比で見れば、全ての入口・出口で増加している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	377,309	3.40	-0.50	143,048	-1.20	0.66
平 残	379,173	2.92	0.57	141,392	-1.59	-0.90

預金は、末残が前年同月比で12,418百万円、3.40%と増加となっているものの、前月比においては、1,924百万円、0.50%の減少となっている。平残では、前年同月比で10,792百万円、2.92%の増加、前月比でも、2,150百万円、0.57%の増加となっている。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で1,747百万円、1.20%と減少しているものの、前月比では945百万円、0.66%の増加となっている。平残においては、前年同月比で2,288百万円、1.59%の減少、前月比でも、1,297百万円、0.90%の減少となっている。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	20,710	-20.31	-16.98
交 換 金 額	14,416	-26.64	-34.43
不 渡 り 手 形 枚 数	1	-97.77	-66.66
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	-100.00

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で5,280枚、20.31%の減少、前月比でも4,237枚、16.98%と減少している。また、交換金額においても前年同月比では5,237百万円、26.64%の減少となり、前月比でも同様に7,570百万円、34.43%の減少となっている。なお、不渡手形は1枚、0.3百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は、3件（前年同月7件、前月6件）、負債総額4.4億円（同39.3億円、同46.4億円）と倒産件数、負債総額は大幅に減少となっている。地区別では下越地区で1件（新潟市1件）、中越地区で2件（三条市・十日町市で各1件）発生している。

業種別は、建設業・小売業・その他で各1件発生となっている。

倒産原因別の状況については、販売不振で2件、その他経営計画の失敗で1件となっている。

昨年5月の負債総額は39.3億円と突出しており、それ以外の過去5年間では4.2～18.6億円と推移していることから、当月の4.4億円は例年並みの状況にある。

県内経済は、緩やかな景気回復傾向が窺えるが、燃料費や資材の高騰、電力料金の値上げなど収益を圧迫する状況が続いており、体力が低下している企業には引き続き厳しい経営環境が続いている。